

第7回環境影響評価審査会
事務局資料
令和2年9月3日

(仮称) 都市高速鉄道上瀬谷ライン整備事業
環境影響評価方法書に関する指摘事項等一覧

■事業計画について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
0 事業計画	0-1	将来的に年間 1,500 万人が来訪する根拠を教えてください。 [7/31 審査会]	国内の主要なテーマパークの面積を基に、125ha の規模の場合は、将来的に年間 1,500 万人の来訪者が想定されます。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	0-2	どのくらいの期間で来訪者が年間 1,500 万人に到達すると考えていますか。 [7/31 審査会]	具体的には決まっていますが、ディズニーランドの来訪者が 10 年単位で増加している経緯を踏まえると、10 年、20 年先の将来と考えています。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	0-3	20 年後の社会情勢は大きく変化すると思いますが、それを踏まえても年間 1,500 万人が来訪すると考えているのですか。 [7/31 審査会]	将来的に来訪者が増加する想定で年間 1,500 万人と想定しています。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	0-4	駅の位置はどこになるのか、なぜそこに駅を設置したのか、土地利用計画と路線計画との関係を明確に教えてください。 [7/31 審査会]	主な需要は観光・賑わいゾーンへの来訪者になると考えているため、(仮称) 上瀬谷駅は観光・賑わいゾーンの真ん中辺りに配置するのが適当と考えています。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	0-5	普通の AGT であれば (仮称) 瀬谷駅と (仮称) 上瀬谷駅の間に、中間駅を設置するかと思いますかどうか。 [7/31 審査会]	(仮称) 瀬谷駅と (仮称) 上瀬谷駅の間は市街化調整区域のため需要が少ないと見込まれること、駅の整備費や将来にわたる運営費等を考慮した上で 2 駅の設置としています。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	0-6	地表式部分は車両基地まで含めると約 1 km の距離となりますが、この間が横断不可能になることについてどのように考えていますか。 [7/31 審査会]	駅のところにデッキをかけるなどで、東西方向の動線は確保できると考えています。そのため、コミュニティの連続性の確保という観点は、それほど大きな問題はないと考えています。 [7/31 審査会]	説明実施 [7/31 審査会]
	0-7	今のようなことがわかるような図面を作って審査会に提出できないですか。 [7/31 審査会]	詳細な設計は今後となりますが、考え方としてわかるようにお示しします。 [7/31 審査会]	説明予定 [本日]

■事業計画について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
0 事業計画	0-8	交通システムの選定についての説明は、方法書 2-3 ページの記載だけであり、配慮書の審査時に「数値的なものも含めて示すようにします」と事業者からの回答がありますので、改めてこの部分を補充してください。 [7/31 審査会]	次回お示しします。 [7/31 審査会]	説明予定 [本日]
	0-9	環境面での観点も含め、他のシステムと比べて AGT が優れている説明を検討してください。 [7/31 審査会]		
	0-10	来訪者 1,500 万人のうち、約 4 割から 5 割程度が新たな交通を利用して来訪する想定ですか。 [7/31 審査会]	そのとおりです。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	0-11	(仮称)瀬谷駅の位置が周辺の地盤や構造物への影響に大きく関わってくるので、できるだけ早く詳細な計画の説明をしていただきたいです。 [7/31 審査会]	わかりました。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	0-12	工事に伴い河川に土砂が流出することがないように留意してください。 [7/31 審査会]	今後、詳細な施工計画を検討する中で配慮していきたいと考えています。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
4 生物多様性	4-1	動物の調査地域の範囲を教えてください。 [7/31 審査会]	旧上瀬谷通信施設の端部から約200mまでの範囲です。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	4-2	土地区画整理事業の調査方法と同じですが、一緒に調査を行うのですか。 [7/31 審査会]	調査は土地区画整理事業と一緒に行う予定です。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
10 地盤	10-1	配慮市長意見（５）に対する都市計画決定権者の見解に、地下水位の変化や地盤沈下を起こさない工法を選定する等の旨を示して欲しいです。 [7/31 審査会]	検討します。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	10-2	地表の傾斜や沈下について、常時観測し確認するような記述は方法書にありますか。 [7/31 審査会]	方法書に記載はありません。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	10-3	シールドトンネルでも沈下や傾斜が起こり、地上の構造物が影響を受けて問題になることがあるので必要な項目ではないのですか。 [7/31 審査会]	工事中にはモニタリング等を行います。 [7/31 審査会]	
	10-4	モニタリング等を行う旨を方法書に明示した方が良いのではないのですか。 [7/31 審査会]	検討します。 [7/31 審査会]	

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
13 景観	13-1	対象施設が一部地下に含まれる場合は、主対象をどのように扱うのですか。 [7/31 審査会]	対象となるのは地表式の部分のみです。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	13-2	遠景からの場合は直に対象施設を視認できますか。 [7/31 審査会]	文献調査で視点場となる地点を調査地点に選定しています。今後、調査予測をしていくに当たり、調査地点から視認できる地点は、予測方法としてフォトモンタージュを作成します。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]
	13-3	今後、景観調査の実施時には、色彩や素材等も調査対象に加えていくのですか。 [7/31 審査会]	今後、基本設計を進めていく中で、路線のデザイン等の検討を考えています。 [7/31 審査会]	説明済 [7/31 審査会]

■審議でのコメントについて

項目	No	指摘、質問事項等	取扱い
0 事業計画	0-①	上瀬谷ライン整備事業が必要かどうかについては、アセスで議論するところではないということでしょうか。 [7/31 審査会]	上瀬谷ライン整備事業の実施に当たり環境影響を調査予測し、保全措置を検討する手続になります。事業が不要ではないかという議論までは担っていないと考えます。 [7/31 審査会]
	0-②	事業の必要性について、市民の皆さんにわかりやすい説明をした方が良いということを事業者伝えてください。 [7/31 審査会]	ご指摘いただいたことを事業者伝えていきます。 [7/31 審査会]
	0-③	市民の税金を投じて整備するわけですから、市民にとってどのようなメリットがあるのか、来訪者の利便性だけを確保する視点で良いのか、気になるところです。 [7/31 審査会]	
	0-④	技術指針では1案に絞った背景や根拠を図書に記載するものとあるので、後々市民が検証できる意味でも、方法書にしっかりと記載してくださいという意味で意見を申し上げました。 [7/31 審査会]	
13 景観	13-①	遠景からの評価の場合は、総合的に周辺整備も考慮した上で、景観評価が必要になります。 [7/31 審査会]	ご指摘いただいたことを事業者伝えていきます。 [7/31 審査会]